

# 未来に羽ばたけ

4月7日(土)、本学記念体育館にて平成13年度入学式が行われました。

新入生に向け、小山田学長は「大学は、仲間達との協力・連帯を学ぶ場であり、本物の自己を確立する場があります。すべての面で新しいことの始まりであり、自分が何も分かっていないと気づくことが本当の勉強の始まりです。自分を高めるため、良き友人や先輩をたくさんつくってください。そして立派な社会人に育ってほしい。」と式辞を述べ、また本学では社会に出て役に立つ情報処理教育の充実や各種資格取得の支援などに教育の重点を置く旨述べられました。

新入生を代表し、柳原聡明君(花北商業高校出身)は「このキャンパスに多くの新しいき友を得て、時にスクラムを組み、青春を謳歌したい。」

また、多くの師に学び、激しく変化する時代に流されない普遍的な真理を身に着けるとともに、時代を創造していける人間に成長していきたい。」と誓いの言葉を述べました。



## 2000年シドニーオリンピック銀メダリスト

## 高山樹里さん 内藤恵美さんらを迎え講習会

シドニーオリンピック銀メダリストの全日本ソフトボールチームでエースの高山樹里投手と内藤恵美二塁手を招き、3月4日(日)岩手県内の小・中・高校生、一般を含め約600名の参加による技術講習会・講演会(岩手県ソフトボール協会主催)が本学スポーツセンターと、681スロープ教室で開催されました。

「オリンピック選手のすごさを間近で感じ取ってほしい、ソフトボールというスポーツに夢を持って取り組んでほしい」という主催者側の願いが実現したもので、技術講習会では打撃・守備の基本動作をデモンストレーションして見

せ、また参加した選手達に技術的なアドバイスをしました。

講習会は、質疑応答の形で行われ、オリンピックでの思い出や練習方法のことなど活発な質疑応答がなされました。なお質問した人には特典として直筆サインがプレゼントされました。



## スポーツセンター利用状況

平成10年8月に本学スポーツセンターが完成し2年半がたちました。年間利用者は、本学・外部団体を合わせると46,000人を超えました。

本学スポーツセンターは、完成時の翌年の岩手インターハイでの集団演技の予行練習で使用されたから、徐々に知られるようになりました。

小・中学生から高校生、一般の人まで幅広く利用者が増えており、年間を通して、毎月平均4,000人は利用していますが、8月は、夏休みのためか利用者は比較的小さい方でした。

冬季期間には、強化宿泊や各種講習会が開催されました。12月にはミズノ野球教室が開かれ、講師の千葉ロッテマリーンズコーチ藤倉多祐氏が小学生に熱心に指導

しました。1月に開かれた岩手県高野連指導者講習会では、元箕島高校野球部監督・尾藤 公氏と、シドニーオリンピック全日本打撃コーチ・長崎慶一氏が来学しました。

又、3月に開かれた岩手県ソフトボール講習会では、シドニーオリンピック全日本ソフトボールチーム・高山樹里投手と内藤恵美二塁手の両銀メダリストがスポーツセンターを訪れました。投球練習や、華麗な守備を披露し、参加していた小・中学生や高校生たちは、ただただ関心するばかりでした。

その他岩手県中体連陸上強化合宿、岩手県高体連ソフトテニス強化合宿、岩手県サッカー協会公認審判講習会なども開催されており、一部の競技だけでなく、様々な競技に使用されています。

## OBから一言

### 頑張っていますOB

平成9年度卒業 阿部 雄氏 ジャバ・インド・インダ・プランギ社



### ジャバ・インド・インダ・プランギ (日本とインドネシアを結ぶ美しい虹)

今回は、外国で活躍しているOBの一人を紹介します。平成9年3月に卒業した阿部雄さん(宮城県出身)です。彼は現在インドネシアで会社を営んでいます。社名は「ジャバ・インド・インダ・プランギ社」といって、インドネシアの工芸品を販売したり、観光ガイド業もしているということです。設立して1年4ヶ月になるまだ始めたばかりの会社ですが、奥さんと一人の従業員の3人で頑張っているとのこと。

彼は、大学を卒業後、インドネシア国立ガジャマ大学に言語学を勉強する目的で2年間留学し、終了と同時に会社を設立しました。彼の希望は、社名のとおり日本とインドネシアを結ぶ美しい虹となるということです。ますますのご活躍を期待します。(井手俊一)



この紙は再生紙を使用しております。

## スキー実習



平成12年度本学体育実技・スキー実習が、平成13年1月11日から13日までの2泊3日の日程で安比高原スキー場で実施されました。参加者は、2年生で体育実技「スキー」の受講者101名です。

大学より、バス3台に分乗し安比高原スキー場へと向いました。宿舎の「ホテル安比グランド・アネックス」にて開講式を行い、午後1時30分より1日目の実習にはいりました。

上級者から初心者まで13班に分かれ、それぞれ講習が始まりました。横殴りの吹雪の中、それぞれのレベルに合わせてグレンデを選び、寒さの中での2時間。1日目の講習を終了しました。

夕食後、ボードを片手にナイターグレンデに向かう寒さ知らずの猛者もいました。2日目は朝6時40分起床。やはり吹雪。7時から吹雪の中で体操

をしてから朝食。午前の講習となる。山麓から山頂までのゴンドラも止まり、わずかに運行しているリフトを探しながらの講習となりました。

午後の講習では、初心者もリフトに乗り、悲鳴をあげながらも思い思いのシュブールを描いていました。

最終日、昨日の猛吹雪が嘘のように晴天となり、講習前にゴンドラが運行開始と同時にグレンデに出て行く学生もいました。午前中に各班ごとに、テストを行いその後、時間まで自由滑走となりました。自由滑走では、上級者も初心者も関係なく友達同士で開講式寸前まで滑っていました。閉講式を終えバスに乗り大学へと帰路につきました。2泊3日の短い講習ではありましたが、学生それぞれが、レベルにあわせて上達したように思えます。

## お悔やみ申し上げます

故 重倉珉祐氏 (しげらみんゆう 富士大学名誉学長) 3月7日午後2時30分、心不全のため仙台市青葉区の病院で死去、94歳。82年6月から94年5月まで学長として勤められました。

故 斎藤 忠氏 (さいとう ただし 総務部長、就職課長) 4月4日腎臓ガンのため死去、57歳。昭和47年10月1日から29年間勤められました。

## 広報委員会よりお知らせ

皆さんのご意見、ご希望をどしどしお寄せ下さい。

連絡先は広報室まで  
原 久雄(広報室長) 井手 俊一(広報室課長) 小田桐 恵仁・高橋 直樹(広報室)  
E-mail kouhou@fuji-u.ac.jp

富士大学 経済学部 / 経済学科・経営法学科 〒025-8501 岩手県花巻市下根子450-3 TEL 0198-23-6221 FAX 0198-23-5818 http://www.termnet.co.jp/fujida

卒業  
日本福祉工学会東北支部  
設立総会を本学で開催  
大学院進学  
イギリス滞在記  
吹奏楽クリスマス会  
富士大スポーツ  
ウェイトトレーニング  
機器充実  
トップリーダー研修会  
入学式 未来に羽ばたけ  
銀メダリスト  
高山樹里さん内藤恵美さん  
を迎えて  
スポーツセンター利用状況  
スキー実習  
OBからの一言



# 晴れて社会人 さらなる飛躍へ

## 卒業

### 21世紀にはばたけ!!

3月22日(木)春の息吹が感じられる晴天のもと、平成12年度卒業式が、本学記念体育館で挙行されました。式典には、本学顧問で名誉教授の玉沢徳一郎氏をはじめ多数の来賓、卒業生、保護者を合わせ約700名が参列しました。

卒業生総代の安部文男さん(渡邊朝子ゼミ)に小山田学長より卒業証書が授与され、次いで学術成績、論文、課外活動での優秀者8名が表彰されました。

小山田学長は社会へ第一歩を踏み出す卒業生321名に対し、自己研鑽の重要性を挙げ、「これからの障害に遭遇してもくじけずに自分自身を磨いてほしい。」と、

はなむけの言葉を贈りました。

これを受け、答辞として藤谷威志さん(斎藤智美ゼミ)は、「これまで出会った全ての人達に、感謝したい。現実を逃避することなく、前向きに自分を信じて、着実に進んでいきたい。」と述べました。

卒業生の皆さんの人生における成功を心から念じ、ご健闘をお祈りします。



## 学長表彰者

学術成績優秀表彰	学術論文優秀表彰
安部 文男	安部 文男
藤谷 威志	課外活動優秀表彰
末藤 雅也	田上 雅志
佐藤 学	
鈴木 潤一	
長崎小百合	

## 日本福祉工学会東北支部設立総会を本学で開催「本学に東北支部事務局を設置」

日本福祉工学会に東北支部が設置され、その設立総会が去る2月3日、本学で開催されました。同時に事務局が本学に設置され、6号館7階に事務室を開設しました。

東北支部設立総会において、福祉に対して深い理解と関心を持たれ、支部設立に際し物心両面から多大の貢献をされた本学の青木伸理事長が名誉会長に、また日本福祉工学会の創設にも参画され、これまで学会本部の理事も務められてこられた小山田了三学長が会長に選任されました。更に副会長に医療法人および社会福祉法人理事長で医師の八角正司氏が選出されたのをはじめ幹事等7人の役員が決定され、今後の活動の充実を図るための執行部体制が確立されました。

現在、身体機能が低下した高齢者や障害を持った人の自立促進、生きがい作り、更には介護者の負担軽減などが強く要請されています。これらの状況に対応するため

に、福祉・医療機器等の研究開発をはじめ、高齢者・障害者の自立支援、介護者の支援、そして福祉情報や就職支援システム等幅広い分野が結集し、協力することが必要であります。そこで、福祉・医療に関わる様々な分野の人々の研究・開発並びに情報交換の場として、日本福祉工学会が創設されました。そして今回、全国に先がけて東北支部が設立されましたが、この設立総会において小山田了三学長は挨拶の中で「本会は、日頃福祉ボランティアに努力・実践されている方々と手を取り合い、今日我が国の社会問題となっている福祉の諸問題に正面から取り組んでいくことを目的とするものであります。我が国の福祉の現状は、その多くが国の援助をあてにして行われているものですが、本会では、善意に満ちたボランティア精神を持つ人々の輪を広げ、真の福祉社会を作り上げる基礎を築いて行きたいと考えています。」更に「東北支部は『実



践活動』をメインテーマとする会として行動したい」と述べました。現在、東北支部には企業経営者、医師、福祉行政関係者、更に養護学校、社会福祉専門学校、高校、大学関係者、そして一般の福祉ボランティアに関心を持つ人々が会員として入会し、また法人会員として、一般企業、医療・福祉法人等が入会しています。法人会員の中には既に、外部からのアイデアを提供するとすぐに物作りを行う、いわゆる「ファブレス体制」を作りあげ、福祉に関わるアイデアを待っている企業も出て来ており、また障害者のための就職場所として

の実験工場をスタートさせている企業もあります。大変心強いことです。富士大学は経済・経営等に関わる実践力を養うと同時にこれからの社会を担う者として必要な豊かな人間性を培うこともあります。様々な社会事業のために奉仕するというボランティア精神とその実践は、そのためにも大きな力となり心を豊かにするものです。福祉並びにボランティア活動は広い範囲に関わりを持ちます。だからもっと、自由に英語を聞き、話し、書けるようになりたいというのが、私が常に抱えている課題であり希望

## イギリス滞在記

Vol.3



松岡 勝実 教授

日本にいても、私たちの生活は実に多くの外国語に囲まれている。常に生活全般にわたって外国文化の影響を受けている。さらに、現在は「外国人」という考え方自体がもはや意味をもたなくなるほど、ボーダレスの時代を迎えているといっても過言ではないだろう。そして、その最大公約数の文化を支える言語はやはり英語である。英語の情報をもっとインプットできれば、生活上のアウトプットも増加するはずだ。いいかえれば、情報の守備範囲が広がれば、物事の見方も深まるだろうし、より正確かつ迅速な判断が可能になる。

だからもっと、自由に英語を聞き、話し、書けるようになりたいというのが、私が常に抱えている課題であり希望

タイム、昼食会、パブ・トークなどの社交の場に積極的に参加する。つぎに、テレビ、ラジオ、映画鑑賞など楽しみながら、英語を聞くチャンスができる限りつくる。とにかく英語を聞くのである。聞かなければ答えることはできない。映画でも60パーセント理解できれば、楽しむことができる。こうなればしめたものである。

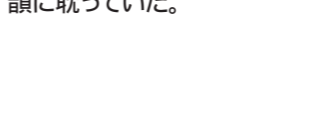
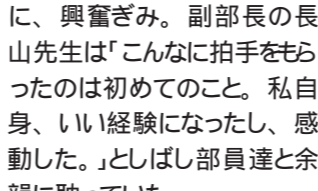
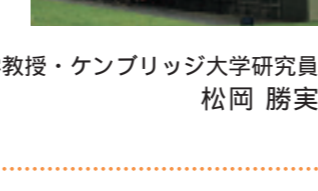
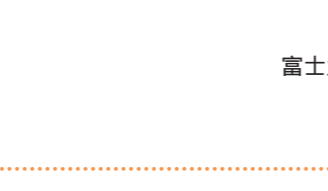
ある程度話せるようになると、今度は話す中身が問題となってくる。そして結局それは人間性の問題につながってくるだろう。自分としても人生の明確な価値観をもち、他者



富士大学教授・ケンブリッジ大学研究員 松岡 勝実

の多様な価値観をみとめてゆることが、国際社会に求められているように思われる。言葉にはその人の人格が表れるのである。

最近富士大キャンパスでも、学生たちがネイティブの先生に積極的に英語で話しかけているのを見かけるようになった。学生の成長には目を見張るものがある。海外研修、語学教育、留学、教員との語らいなど、豊かな富士大の教育環境から、真の国際人が旅立ってゆくことであろう。

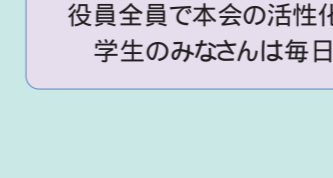
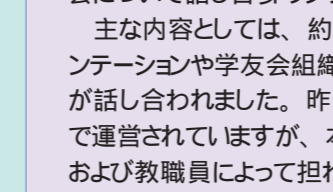
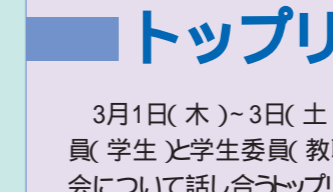
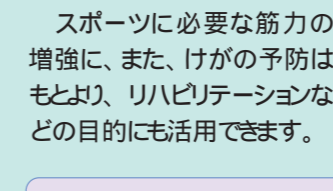
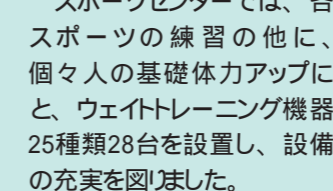
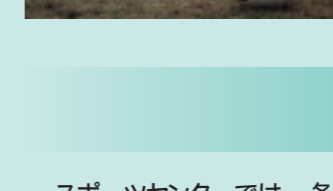


FUJI UNIV. SPORTS CLUB

## 富士大スポーツ

### サッカー部 強化部へ!

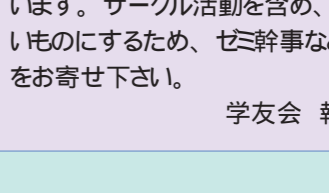
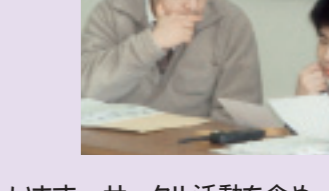
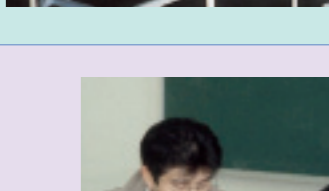
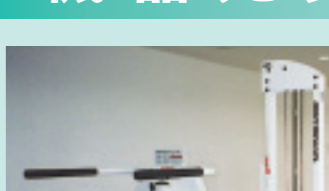
昨年、6月に望月勉さん(28歳)をサッカー部コーチとして迎え入れ、サッカー部強化の第一歩を踏み出した。「全国で活躍する学生を育てる」という強い意気込みで、望んだ一年目ではあったが、思うように事は進まず、歯がゆさが残った一年だったに違いない。彼は、大学を卒業後サッカーJ1チームのアビスパ福岡へ入団。しかし怪我により選手



生活を続けることを断念。退団後は、滋賀県にあるルネス学院専門学校にてサッカーの指導にあたる。昨年大学時代の恩師である、小林保美助教授の誘いにより本学にやってきた。雪を見るのも初めて。寒暖の激しい北国ならではの生活にも多少戸惑いながら、サッカーへの情熱は衰えず、今年新チーム結成のため22名の新人を迎え入れた。

昨年は接戦しながら、勝利に結びつけることができず悔しい思いが残ったが、今年はその悔しさをバネにして東北リーグで大暴れてほしい。

今年4月にはコーチから監督に就任、新たにキーパーコーチとして伊藤竜一さん(24歳)を迎え万全な体制が整った。さあこれからが勝負。がんばれ!



監督 望月 勉

千葉経済大学附属高校出身  
明海大学出身  
Jリーグアビスパ福岡  
ルネス学院専門学校監督

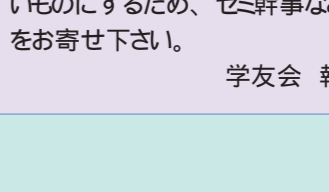
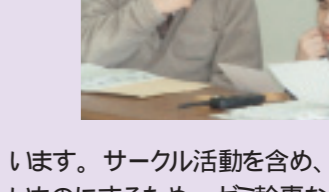
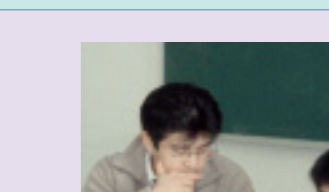
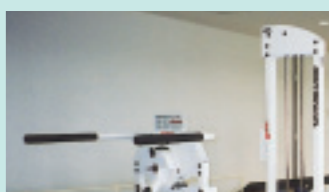
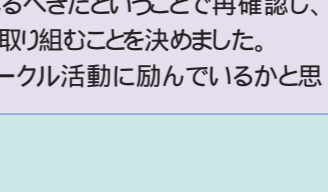
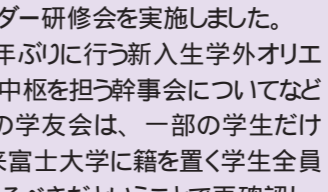
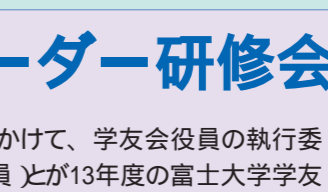
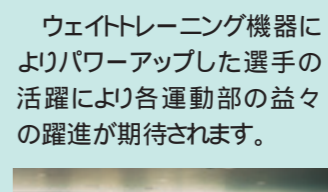
コーチ 伊藤竜一

千葉市立船橋高校出身  
明海大学出身  
千葉経済大学附属高校コーチ

平成6年  
全国高校選手権大会優勝  
決勝  
市立船橋VS帝京高  
5 0

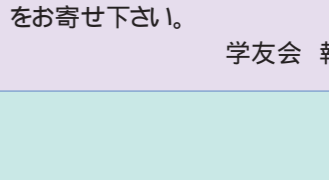
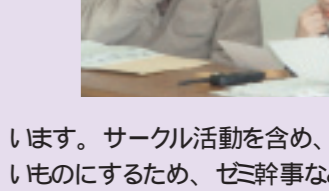
## ウェイトトレーニング 機器充実

スポーツセンターでは、各スポーツの練習の他に、個々人の基礎体力アップにと、ウェイトトレーニング機器25種類28台を設置し、設備の充実を図りました。スポーツに必要な筋力の増強に、また、けがの予防はもとより、リハビリテーションなどの目的にも活用できます。



## トップリーダー研修会

3月1日(木)~3日(土)にかけて、学友会役員の執行委員(学生と学生委員・教職員)とが13年度の富士大学学友会について話し合うトップリーダー研修会を実施しました。主な内容としては、約20年ぶりに行う新入生学外オリエンテーションや学友会組織の中核を担う幹事会についてなどが話し合われました。昨今の学友会は、一部の学生だけで運営されていますが、本来富士大学に籍を置く学生全員および教職員によって担われるべきだということで再確認し、役員全員で本会の活性化に取り組むことを決めました。学生のみなさんは毎日サークル活動に励んでいるかと思



学友会 執行委員会 荒井 敏隆

## 大 学 院 進 学

3月に富士大学を卒業して4月から大学院に在籍しています。大学院へ進学した理由は学部時代に取得した教員免許状を専修免許状にグレードアップさせ、学際的な専門知識を身につけ将来は、高等学校の教員を目指しています。かつて大学院は学者、研究者養成の場所というイメージが強くありました。ところが、めまぐるしい時代の変化と共に大学院も時代の要請に応えるべく様変わりしてきています。例えば私のように免許取得型の場合、教員志望者は、専修免許状を目的としており、また、研究科によって異なりますが、税理士、会計士、司法試験など大学院を終了することにより一部の試験科目が免除される特典を得ることを目指す者もいます。このように今日の大学院には多種多様で自由なスタイルの学び方がありま

す。また、私が大学院に進学できたのはひとえに私のために忙しい時間を割いて外国語や専門科目、進路相談などの指導を賜りました諸先生方と友人たちの励ましと支援のお陰でもあります。新天地で勉学を継続しますが、花巻で出逢った恩師、友人のことはいつまでも忘れません。4年間の大学生活で得た一番大切なことは「人の和」を大切に継続し育む真心です。

国立上越教育大学大学院  
学校教育研究科修士課程  
学校教育専攻

9E164 柴田 康仁

彼のほかに、福島大学大学院行政社会学研究科に鈴木義則さん(川島ゼミ)が進んでいます。また、入学を辞退し進学はしませんでした。が、小笠原光祐さん(名島ゼミ)が国立上越教育大学大学院に合格しています。

一昨年も東京学芸大学大学院に。また、今年から本学の非常勤講師となった益満環さん(前田ゼミ)は、本学3年の時に東北大学大学院経済学研究科に「飛び級進学」するなど近年、本学から国立大学の大学院に進む人が増えています。人生に目標をもって後輩にも続いてほしいと思います。

## 吹奏楽 クリスマス会

12月11日(月)、花巻市太田にある花巻養護学校でクリスマス会が開催された。

このクリスマス会に吹奏楽部数名が、ボランティア参加し、演奏した。参加のきっかけは、部員の新田篤史君(小林保美ゼミ)からの呼びかけであった。新田君は5月から養護学校寄宿舎でのアルバイトを始め、子供たちとの交流があり、夏祭りにも参加していたので、吹奏楽部に呼びかけたのである。学校内にあるホールで行わ



(新田篤史君)



合わせて拍手やダンスをし、大いに盛り上げた。アンコールの声に押され、追加で2曲演奏した。

無事、演奏し終わった部員達も子供たちの盛り上がり

に、興奮ざみ。副部長の長山先生は「こんなに拍手をもらったのは初めてのこと。私自身、いい経験になったし、感動した。」としばしば部員達と余韻に耽っていた。